

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2014年第47週
(11月17日～11月23日)

- * 2014年11月26日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は感染症豆知識「A型肝炎」も掲載しています。

平成26(2014)年11月27日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2014年47週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		44週	45週	46週	47週	年累計	47週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	77	63	88	59	3,583	298	23,283
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 ^{*1}							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
指定	中東呼吸器症候群 ^{*2}							
	鳥インフルエンザ(H7N9) ^{*3}							
三類	コレラ					3		4
	細菌性赤痢	3	1	2		36	3	137
	腸管出血性大腸菌感染症	5	3	3	7	349	41	3,942
	腸チフス			1		27		53
	パラチフス					7		15
四類	E型肝炎	1				23		123
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	2				33	1	420
	エキノコックス症							16
	黄熱							
	オウム病					3		8
	オムスク出血熱							
	回帰熱							1
	キャサナル森林病							
	Q熱							1
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							1
	サル痘							
	重症熱性血小板減少症候群 ^{*4}							58
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱		1			4		12
	つつが虫病	3		1	1	13	21	195
デング熱	1		1		161		325	
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								
ニパウイルス感染症								
日本紅斑熱						4	229	
日本脳炎							2	

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		44週	45週	46週	47週	年累計	47週	年累計
四 類	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症					4		10
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							1
	マラリア		1	1	1	27	1	56
	野兔病							1
	ライム病					2		15
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							
	レジオネラ症	2	1	5	1	100	14	1,092
	レプトスピラ症	1	1			5		45
ロッキー山紅斑熱								
2014/11/26集計								

*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。2014年7月26日より新たに追加指定された。

*3 2013年5月6日より新たに追加指定された。

*4 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。2013年3月4日より新たに追加指定された。

(全数把握対象疾患のコメント・一類～四類)

〈二類感染症〉

結核 59件 肺結核 35件、その他の結核 10件、肺結核及びその他の結核 1件、無症状病原体保有者 10件、疑似症 3件、年齢は5歳未満 1件、20代 11件、30代 5件、40代 9件、50代 6件、60代 6件、70代 9件、80代 7件、90歳以上 5件、推定感染地は国内 55件、フィリピン 1件、ミャンマー 1件、中国 1件、国内又は国外(渡航先不明) 1件であった。

〈三類感染症〉

腸管出血性大腸菌感染症 7件 患者 3件、無症状病原体保有者 4件、血清型・毒素型はO157 VT1・VT2 1件、O157 VT2 2件、O157 VT型不明 2件、血清型不明VT2 2件、年齢は5歳未満 1件、20代 3件、30代 1件、40代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 7件、推定感染経路は経口感染 4件(馬刺し 2件、生野菜 1件、食品不明 1件)、不明 3件であった。20代のうち2件は同一飲食店の利用があった。

〈四類感染症〉

つつが虫病 1件 患者、年齢は40代、推定感染地は国内(第46週に報告された患者と同一地域)であった。

マラリア 1件 患者、病型は熱帯熱、年齢は50代、推定感染地はガーナであった。

レジオネラ症 1件 病型は肺炎型、年齢は60代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

全数把握対象疾患 報告数（五類） 2014年47週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		44週	45週	46週	47週	年累計	47週	年累計
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢	3	3	3	2	203	19	1,000
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)				1	42	2	206
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 *3	4	4	8	2	36	10	194
	急性脳炎 *1	2		2		44	2	400
	クリプトスポリジウム症					81		97
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1		1	1	15	1	155
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症				1	40	7	240
	後天性免疫不全症候群	11	4	10	11	460	22	1,356
	ジアルジア症					13		58
	侵襲性インフルエンザ菌感染症 *2		1			21	1	175
	侵襲性髄膜炎菌感染症 *2	1	1			8	1	31
	侵襲性肺炎球菌感染症 *2	5	3	2	4	199	22	1,521
	水痘(入院例に限る) *3				1	7	3	86
	先天性風しん症候群					3		9
	梅毒	10	7	7	9	448	17	1,471
	播種性クリプトコックス症 *3					2		17
	破傷風					10		119
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					3		46
風しん	1	1			95	2	312	
麻しん	1				91	2	458	
薬剤耐性アシネトバクター感染症 *3					2		11	

2014/11/26集計

*1 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

*2 2013年4月1日より新たに追加指定された。

*3 2014年9月19日より新たに追加指定された。

（全数把握対象疾患のコメント・五類）

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 2件 病型は腸管 2件、年齢は30代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は異性間性的接触 1件、不明 1件であった。

ウイルス性肝炎 1件 B型、年齢は20代、推定感染地は国内、推定感染経路は異性間性的接触、B型肝炎ワクチン接種歴は不明であった。

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2件 患者 2件、病原菌はエンテロバクター・クロアカ 2件、年齢は50代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は以前からの保菌 1件、不明 1件、90日以内の海外渡航歴なし 2件であった。

クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 古典型CJD、年齢は70代であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 血清群はA群、年齢は60代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

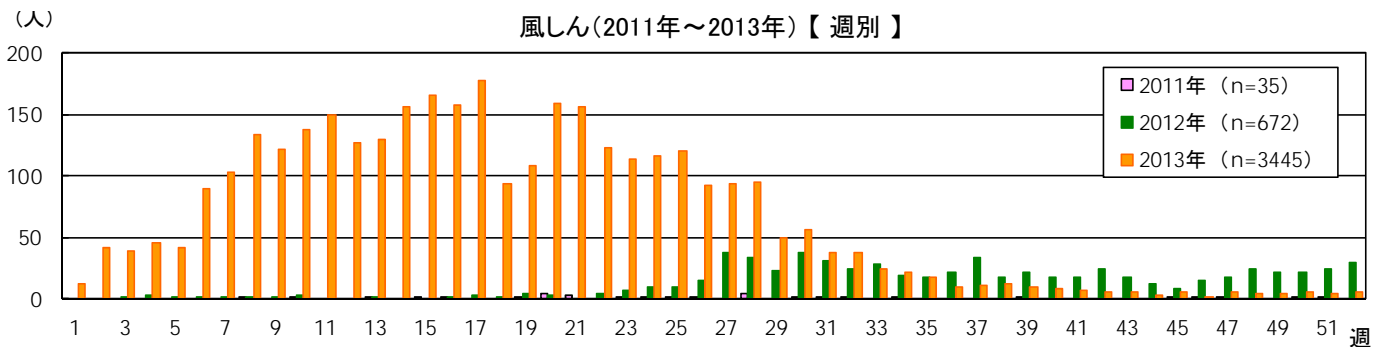
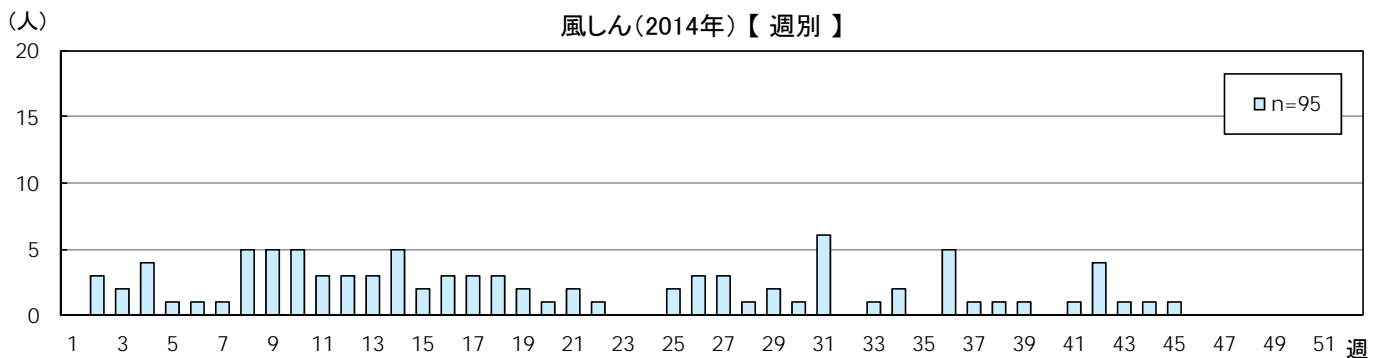
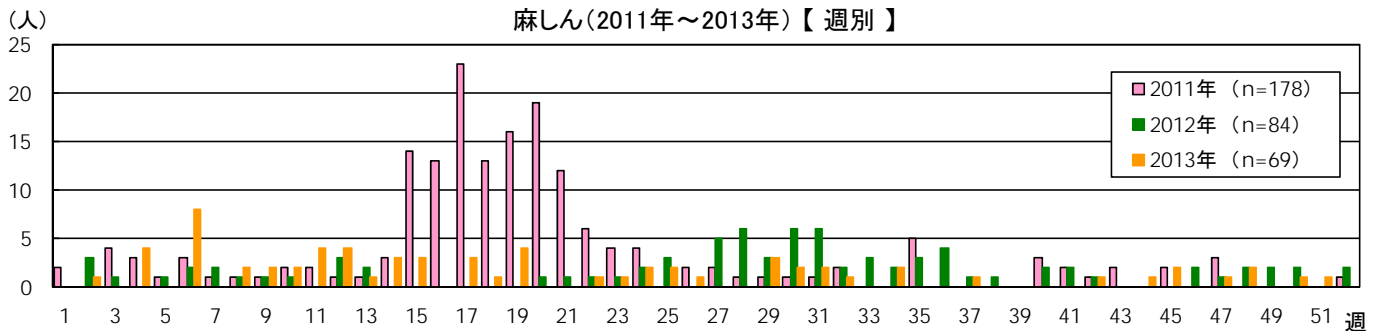
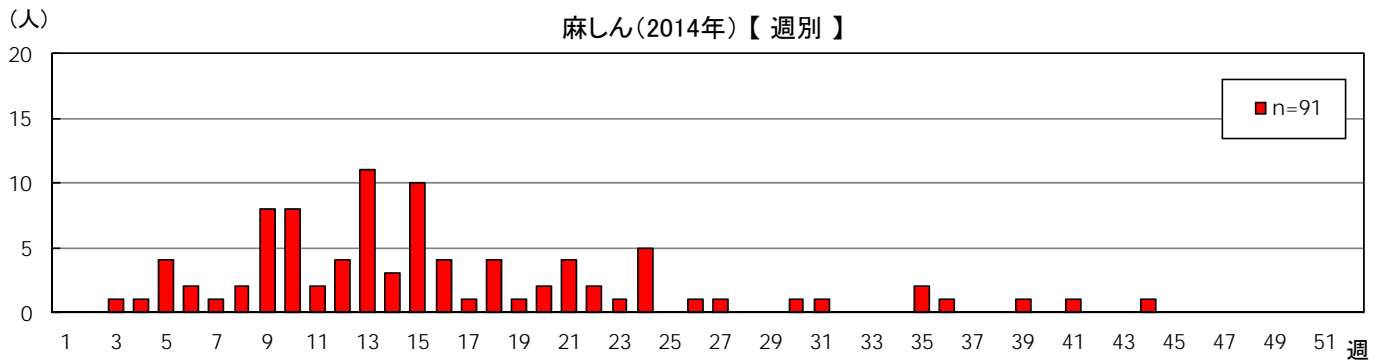
後天性免疫不全症候群 11件 AIDS 2件、無症候キャリア 9件、AIDS患者の年齢は30代 1件、50代 1件、無症候キャリアの年齢は20代 6件、30代 3件、推定感染地は国内 8件、ミャンマー 1件、不明 2件、推定感染経路は性的接触 9件(同性間 4件、異性間 3件、両性間 1件、性別不明 1件)、不明 2件であった。

侵襲性肺炎球菌感染症 4件 血清型は検査未実施 4件、年齢は5歳未満 1件、30代 1件、60代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 1件、不明 3件、肺炎球菌ワクチン接種歴は13価3回接種済み 1件、接種なし 2件、接種不明 1件であった。

水痘(入院例) 1件 検査診断例、年齢は10代、推定感染地は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染(家族内感染)、水痘ワクチン接種歴は1回接種済みであった。

梅毒 9件 早期顕症梅毒Ⅰ期 5件、早期顕症梅毒Ⅱ期 3件、無症候梅毒 1件、年齢は20代 2件、30代 2件、40代 4件、50代 1件、推定感染地は国内 9件、推定感染経路は性的接触 8件(同性間 3件、異性間 2件、性別不明 3件)、不明 1件であった。

全数把握対象疾患(麻しん・風しん)報告数(週別・保健所別)



定点把握対象疾患 報告数 2014年47週

定点種別	対象疾患	2014年					報告医療機関数	定点医療機関数
		44週	45週	46週	47週	定点当たり		
小児科	RSウイルス感染症	286	268	355	382	1.46	262	264
	咽頭結膜熱	112	122	136	157	0.60		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	545	524	671	706	2.69		
	感染性胃腸炎	1,255	1,195	1,668	2,202	8.40		
	水痘	173	229	213	229	0.87		
	手足口病	175	157	154	146	0.56		
	伝染性紅斑	149	125	163	167	0.64		
	突発性発しん	174	171	182	149	0.57		
	百日咳	1	2	6	4	0.02		
	ヘルパンギーナ	44	43	29	22	0.08		
	流行性耳下腺炎	48	59	61	52	0.20		
	川崎病 ^{*1}	1	3	3	3	0.01		
	不明発しん症 ^{*1}	27	22	16	17	0.06		
インフルエンザ	インフルエンザ ^{*2}	93	164	303	791	1.92	411	419
眼科	急性出血性結膜炎			1			38	39
	流行性角結膜炎	19	18	17	27	0.71		
基幹	細菌性髄膜炎 ^{*3}	1	1				25	25
	無菌性髄膜炎	1	2		1	0.04		
	マイコプラズマ肺炎	6	6	9	10	0.40		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)			1	1	0.04		
	感染性胃腸炎(ロタウイルス) ^{*4}	1						
	インフルエンザ入院		2		3	0.12		

2014/11/26集計

*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

*2 鳥インフルエンザを除く。

*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。2013年42週より開始

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、伝染性紅斑の定点当たり報告数は更に増加し、過去5年平均より高い値での推移が続いている。
- ・インフルエンザの定点当たり報告数は増加し、流行開始基準の1.0を超えた。

(定点医療機関からのコメント)

みなと

- ・感染性胃腸炎(ノロウイルス陽性) 7名

台東

- ・学級閉鎖の小・中学校があります。

墨田区

- ・アデノウイルス扁桃炎 2名

世田谷

- ・マイコプラズマ肺炎 1名、アデノウイルス感染症 1名
- ・ロタウイルス腸炎 1名
- ・マイコプラズマ感染症 2名

池袋

- ・溶連菌感染症が流行しています。
- ・水痘も保育園で集団発生中。

荒川区

- ・ノロウイルス陽性 1名、病原性大腸菌 O1、O25、O128 各1名
- ・病原性大腸菌 O1 2名、O18、O25 各1名、カンピロバクター 2名

江東区

- ・学級閉鎖の小学校があります。

北区

- ・伝染性紅斑が流行しています。

八王子市

- ・アデノウイルス感染症 1名
- ・アデノウイルス咽頭炎 2名

多摩小平

- ・マイコプラズマ肺炎 2名、病原性大腸菌 4名

みなと、新宿区、文京、台東、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷、中野区、杉並、池袋、北区、荒川区、練馬区、葛飾区、江戸川、八王子市、町田市、西多摩、南多摩、多摩立川、多摩府中、多摩小平保健所の95医療機関からインフルエンザA型、世田谷、中野区、八王子市、町田市、西多摩保健所の5医療機関からインフルエンザB型、中野区保健所の1医療機関から臨床診断の報告がありました。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2014年47週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
～5か月	47			13	1	2			1		
6～11か月	56	8	3	111	9	9		44		4	
1歳	156	35	18	375	22	45	6	80		10	1
2歳	56	19	28	207	22	26	7	19		3	3
3歳	33	24	54	193	37	17	27	1			7
4歳	24	21	75	216	29	14	21	4		1	6
5歳	6	14	102	179	33	9	21	1			5
6歳	4	8	100	139	28	8	30			2	6
7歳		7	85	126	14	4	18				5
8歳		3	76	105	6	3	14		1	2	7
9歳		4	53	74	13	1	9				5
10～14歳		6	77	199	15	4	13				7
15～19歳			5	37					1		
20～29歳		8	30	228		4	1		1		
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	382	157	706	2,202	229	146	167	149	4	22	52
先週比	27	21	35	534	16	-8	4	-33	-2	-7	-9

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月			1								
6～11か月	1	3	6								
1歳	1	7	17								1
2歳	1	2	20		1			1			1
3歳			21								
4歳		1	41		1			2			
5歳		1	34					2			
6歳			47					1			
7歳		1	57				1	2			
8歳		1	49								
9歳		1	36					1			
10～14歳			284		3			1			
15～19歳			26		1						
20～29歳			27		6						
30～39歳			45		5						
40～49歳			54		5						
50～59歳			17		3						
60～69歳			6		2						1
70～79歳			1								
80歳以上			2						1		
合計	3	17	791		27		1	10	1		3
先週比		1	488	-1	10		1	1			3

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2014年47週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田	0.67		0.67	1.67				0.33			
中央区	1.33		1.33	21.00	0.33			1.00			
みなと	1.50	1.67	1.83	9.83	0.17	3.33	0.67	0.67		0.33	
新宿区	4.38	0.50	1.63	3.75	0.50	0.13		0.25			0.25
文京	0.75	0.75	2.00	5.50	0.50		2.50	0.50			0.25
台東	0.75	0.50	2.50	14.00	0.75	0.50	0.25	0.75			0.25
墨田区	1.80	0.40	2.60	3.80		0.20	0.40	0.60	0.20	0.40	0.60
江東区	3.67	0.33	4.22	12.22	0.22	0.89	1.00	0.33		0.67	
品川区	1.63	0.13	2.25	9.75	1.00	0.38	0.38	1.13		0.13	
目黒区	0.80		0.40	9.80	0.20	0.60		0.20		0.20	0.20
大田区	2.54	0.46	2.85	13.85	1.23	0.31	0.46	0.85	0.08		0.23
世田谷	1.06	2.00	3.06	11.63	0.63	0.50	0.19	0.50			0.25
渋谷区	0.50		0.75	4.75				0.25			
中野区	1.17		1.17	11.17	0.33	1.17	0.33	1.17			
杉並		0.45	0.55	6.82	0.27	0.73	0.36	0.45			0.09
池袋	0.75	0.25	2.75	2.50	1.75	0.25					
北区	0.29	0.29	0.57	4.86	1.71	0.57	2.00	0.57			0.14
荒川区	5.25	0.25	3.00	14.00	3.25	0.50	2.00	0.50			0.50
板橋区	0.10	0.10	0.20	2.90	0.70		0.50	0.10			0.20
練馬区	0.77	0.23	1.62	5.92	1.08	0.46	0.85	0.54			0.23
足立	0.92	1.08	2.08	12.77	1.31	0.23	0.31	0.31			0.54
葛飾区	0.75		1.75	13.50	0.50	2.38	1.13	0.50		0.13	
江戸川	0.45	1.73	4.73	10.64	0.27	0.64	0.18	0.45	0.18	0.27	0.09
八王子市	2.45	0.36	5.00	11.09	1.27		2.09	0.36		0.09	0.45
町田市	0.50	0.50	8.50	11.88	1.88	1.00	1.00	0.50			
西多摩	1.00		1.00	5.88	0.63	0.13	0.38	0.38			0.38
南多摩	3.33	0.22	3.78	5.22	0.33	0.22	0.89	0.89			0.11
多摩立川	1.14	0.21	2.64	4.07	0.86	0.50	0.79	0.93		0.14	0.14
多摩府中	0.95	0.57	3.76	6.57	1.24	0.57	0.14	0.67		0.10	0.29
多摩小平	2.87	1.53	4.00	5.40	1.60	0.60	0.93	0.87		0.07	0.20
島しょ			1.00								
東京都	1.46	0.60	2.69	8.40	0.87	0.56	0.64	0.57	0.02	0.08	0.20

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田			0.50								
中央区			0.40		3.00						
みなと			2.22								
新宿区			0.83		0.50			1.50			
文京			3.83		4.00						
台東			1.29								
墨田区		0.20	1.13								
江東区	0.11	0.11	3.57								
品川区			1.25								
目黒区			0.25								
大田区		0.15	3.10								
世田谷		0.25	1.76		1.00		0.50				
渋谷区			0.43		2.00			3.00	1.00		
中野区		0.17	1.40								
杉並			0.94								
池袋	0.25		1.43					2.00			
北区		0.14	0.45								
荒川区			7.14								
板橋区		0.10	1.19		1.00			1.00			
練馬区	0.08		2.76								
足立			0.80		1.00						
葛飾区		0.13	1.85					1.00			1.00
江戸川			3.83		2.00						
八王子市			2.56		1.00						
町田市		0.38	2.23								
西多摩			2.07		1.00						
南多摩		0.11	2.21		1.00						
多摩立川			0.86								
多摩府中			2.27		1.00						0.33
多摩小平		0.07	1.83								0.50
島しょ											
東京都	0.01	0.06	1.92		0.71		0.04	0.40	0.04		0.12

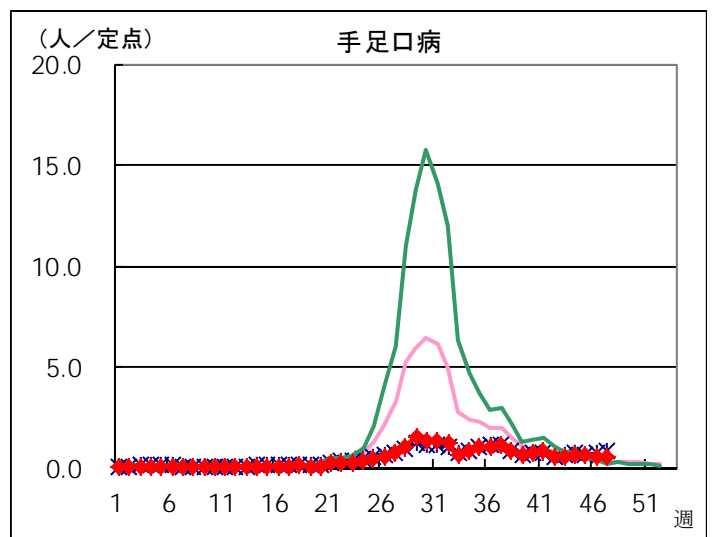
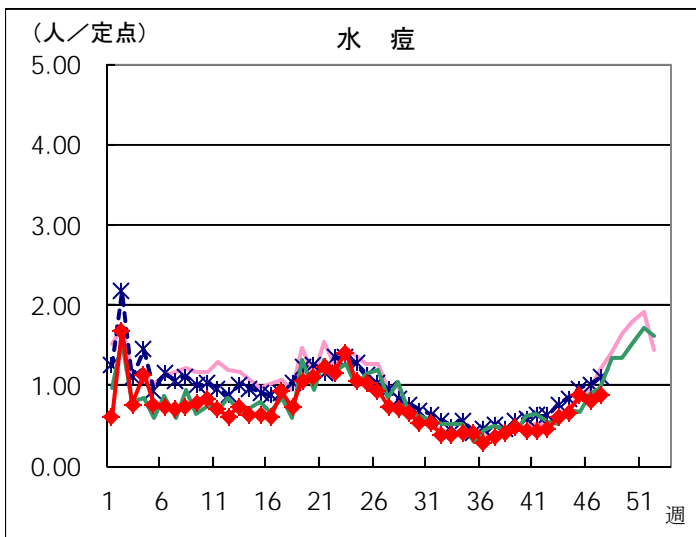
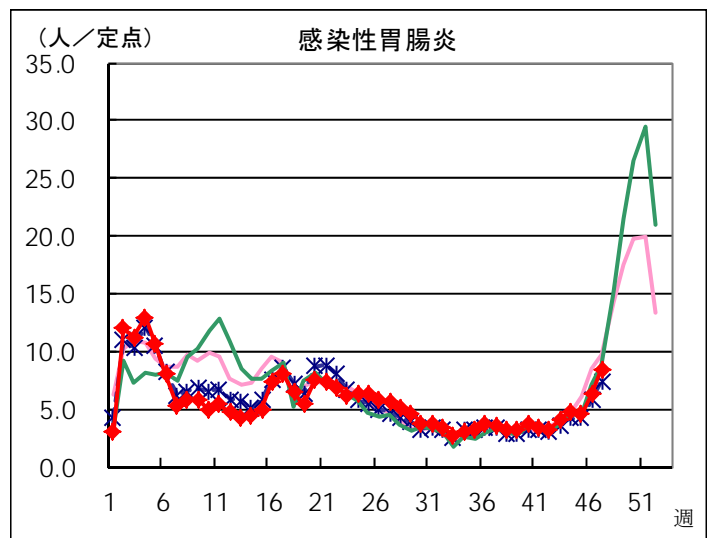
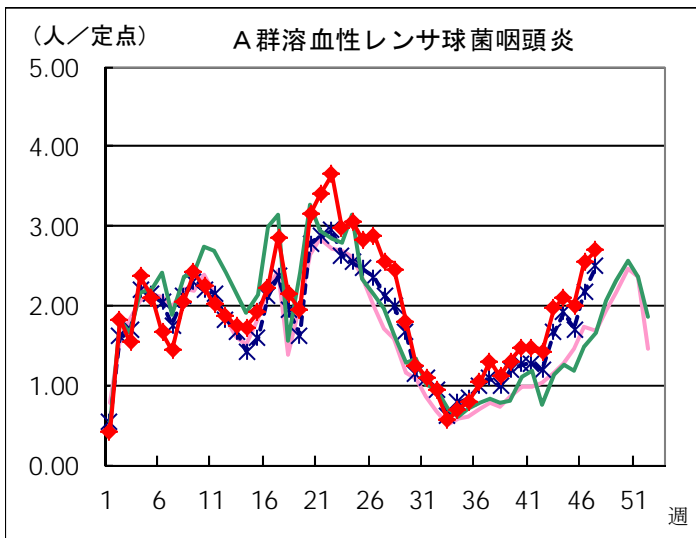
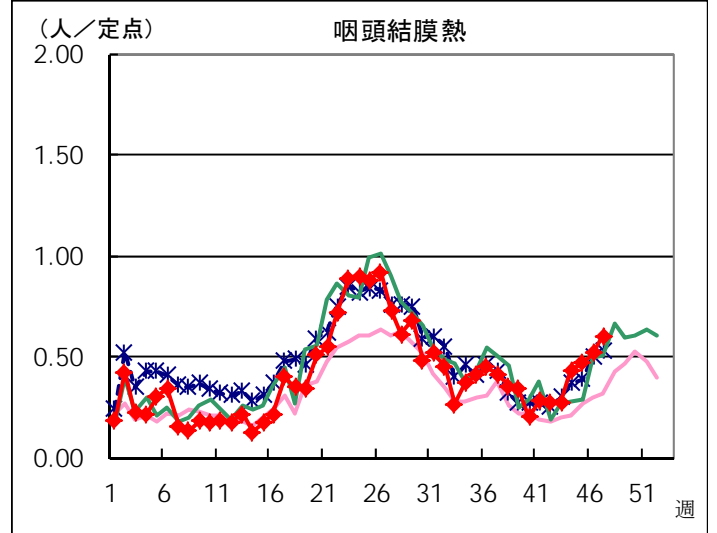
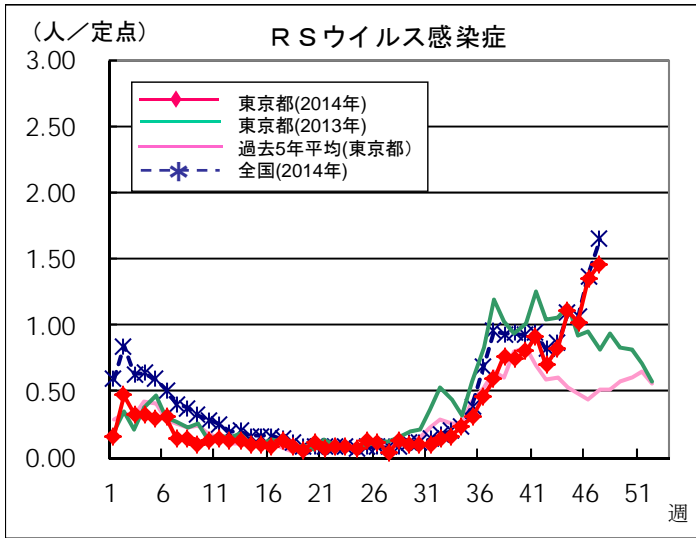
定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2014年47週

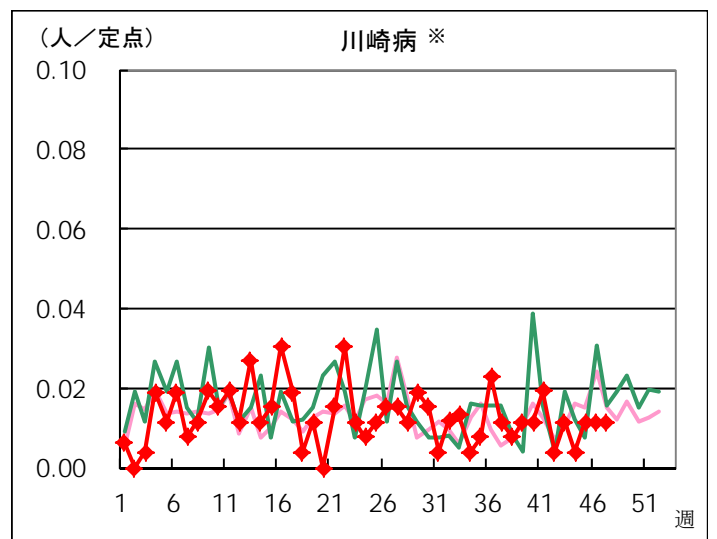
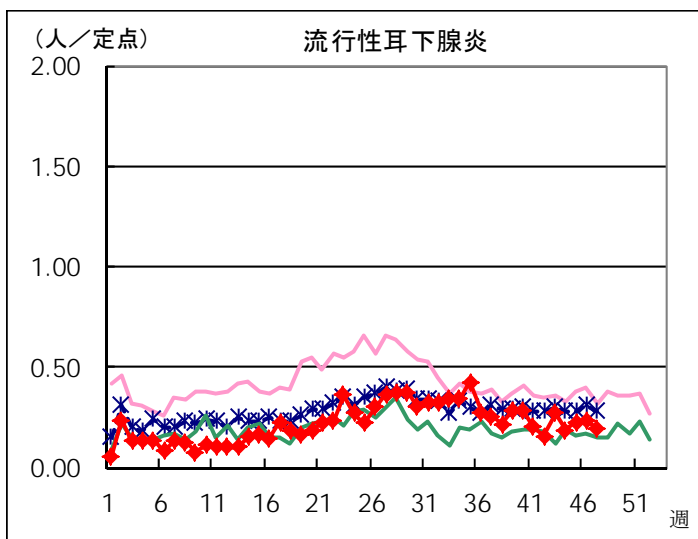
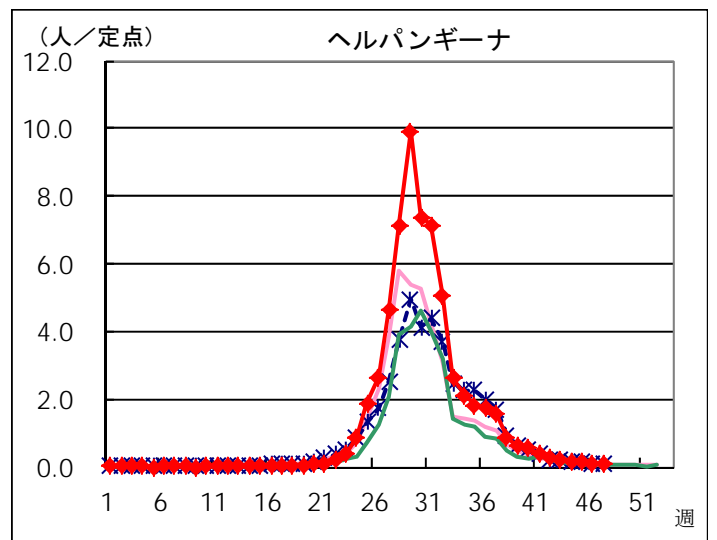
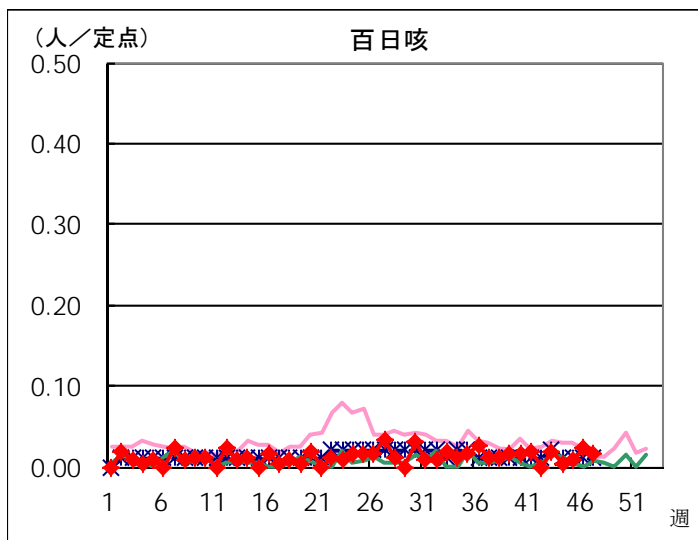
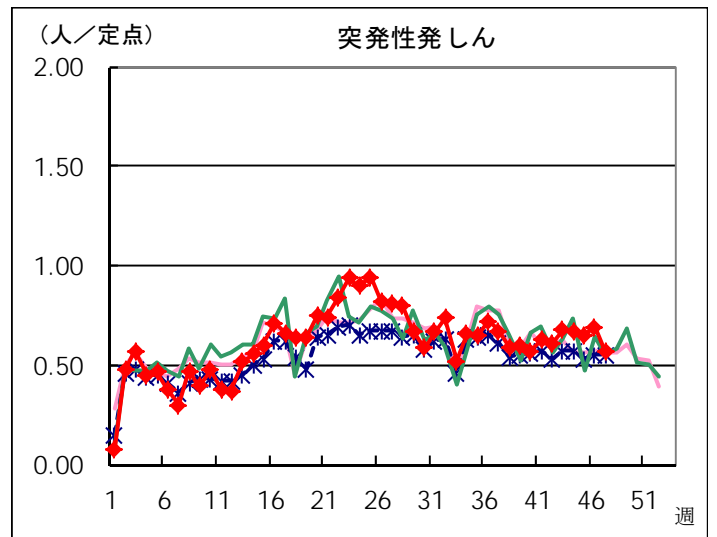
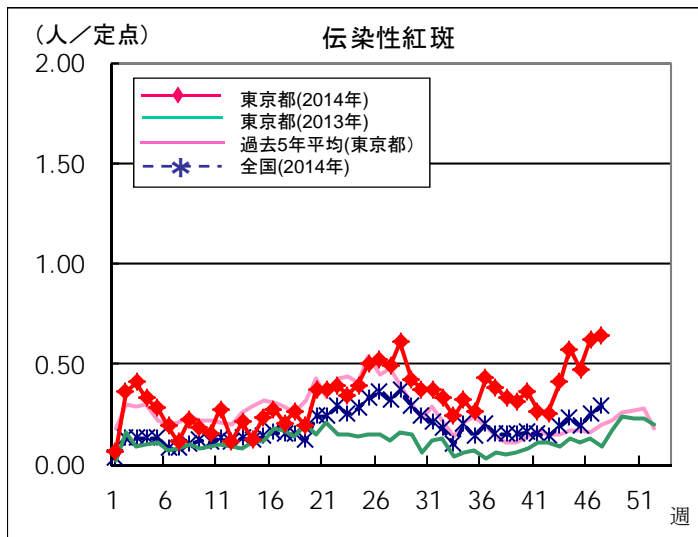
	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田	2		2	5				1			
中央区	4		4	63	1			3			
みなと	9	10	11	59	1	20	4	4		2	
新宿区	35	4	13	30	4	1		2			2
文京	3	3	8	22	2		10	2			1
台東	3	2	10	56	3	2	1	3			1
墨田区	9	2	13	19		1	2	3	1	2	3
江東区	33	3	38	110	2	8	9	3		6	
品川区	13	1	18	78	8	3	3	9		1	
目黒区	4		2	49	1	3		1		1	1
大田区	33	6	37	180	16	4	6	11	1		3
世田谷	17	32	49	186	10	8	3	8			4
渋谷区	2		3	19				1			
中野区	7		7	67	2	7	2	7			
杉並		5	6	75	3	8	4	5			1
池袋	3	1	11	10	7	1					
北区	2	2	4	34	12	4	14	4			1
荒川区	21	1	12	56	13	2	8	2			2
板橋区	1	1	2	29	7		5	1			2
練馬区	10	3	21	77	14	6	11	7			3
足立	12	14	27	166	17	3	4	4			7
葛飾区	6		14	108	4	19	9	4		1	
江戸川	5	19	52	117	3	7	2	5	2	3	1
八王子市	27	4	55	122	14		23	4		1	5
町田市	4	4	68	95	15	8	8	4			
西多摩	8		8	47	5	1	3	3			3
南多摩	30	2	34	47	3	2	8	8			1
多摩立川	16	3	37	57	12	7	11	13		2	2
多摩府中	20	12	79	138	26	12	3	14		2	6
多摩小平	43	23	60	81	24	9	14	13		1	3
島しょ			1								
東京都合計	382	157	706	2,202	229	146	167	149	4	22	52

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田			2								
中央区			2		3						
みなと			20								
新宿区			10		1			3			
文京			23		4						
台東			9								
墨田区		1	9								
江東区	1	1	50								
品川区			15								
目黒区			2								
大田区		2	62								
世田谷		4	44		2		1				
渋谷区			3		2			3	1		
中野区		1	14								
杉並			16								
池袋	1		10					2			
北区		1	5								
荒川区			50								
板橋区		1	19		2			1			
練馬区	1		47								
足立			16		2						
葛飾区		1	24					1			1
江戸川			69		4						
八王子市			46		2						
町田市		3	29								
西多摩			29		1						
南多摩		1	31		1						
多摩立川			18								
多摩府中			75		3						1
多摩小平		1	42								1
島しょ											
東京都合計	3	17	791		27		1	10	1		3

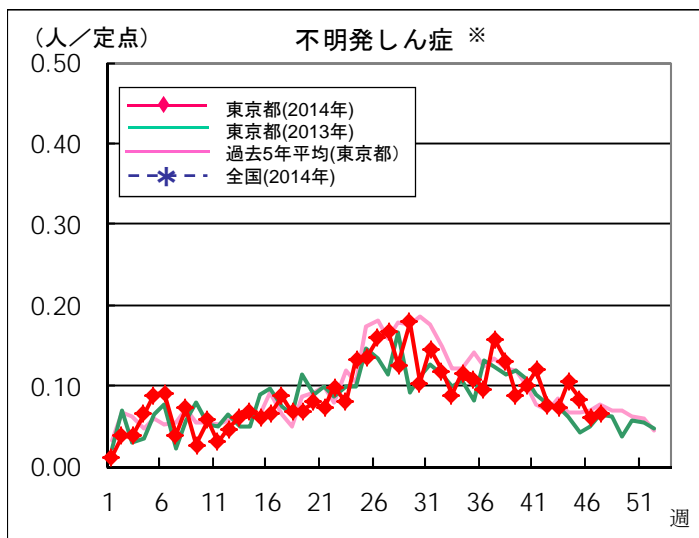
定点把握対象疾患 週別報告数(2014年47週 現在)

◆ 小児科定点



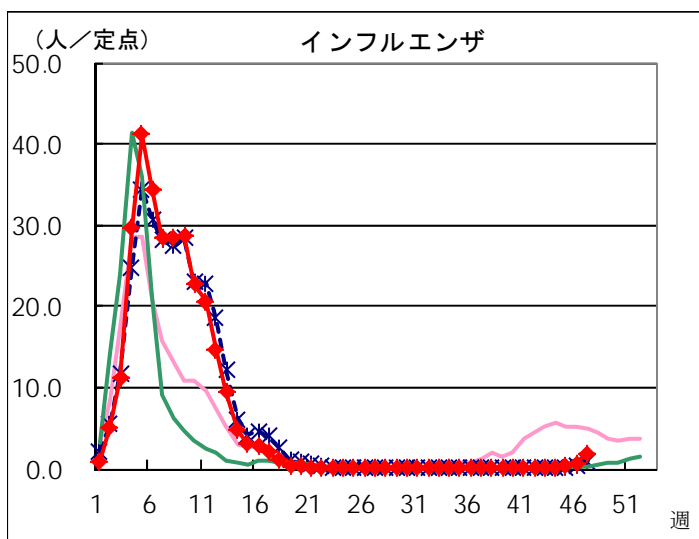


※ 東京都独自対象疾患

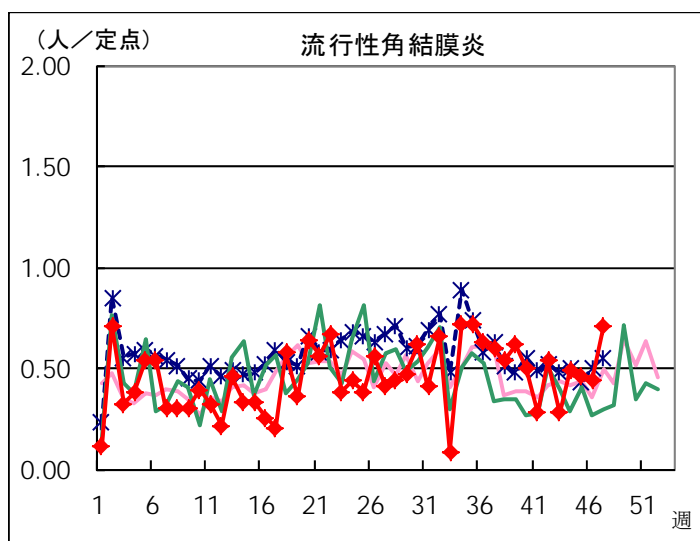
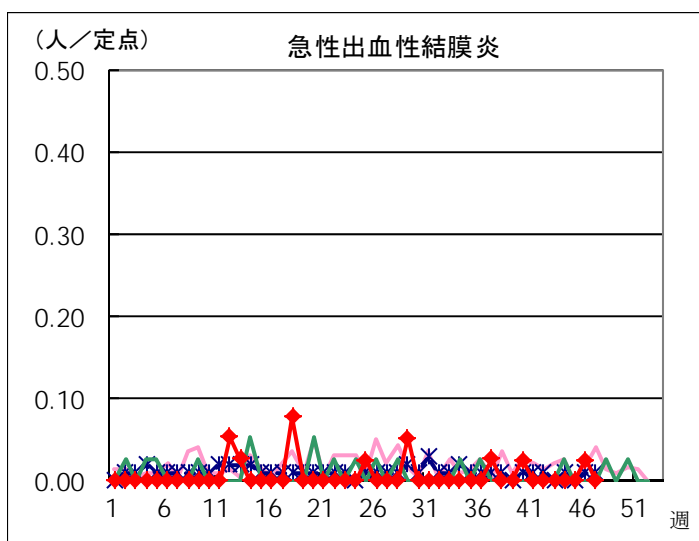


※ 東京都独自対象疾患

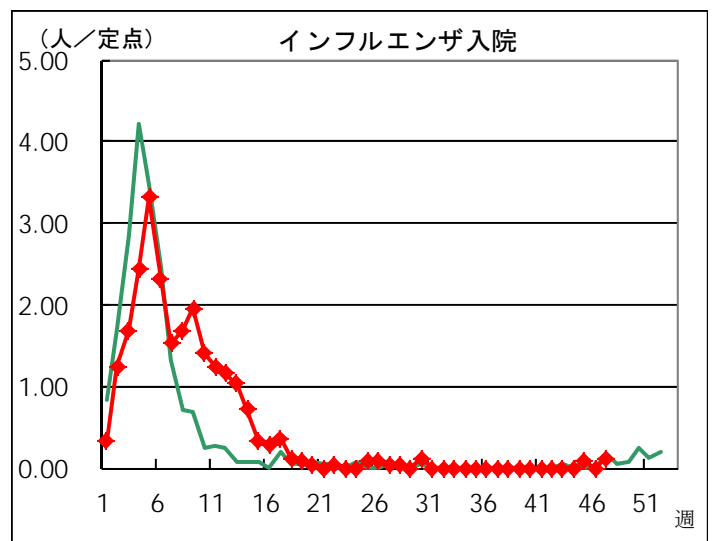
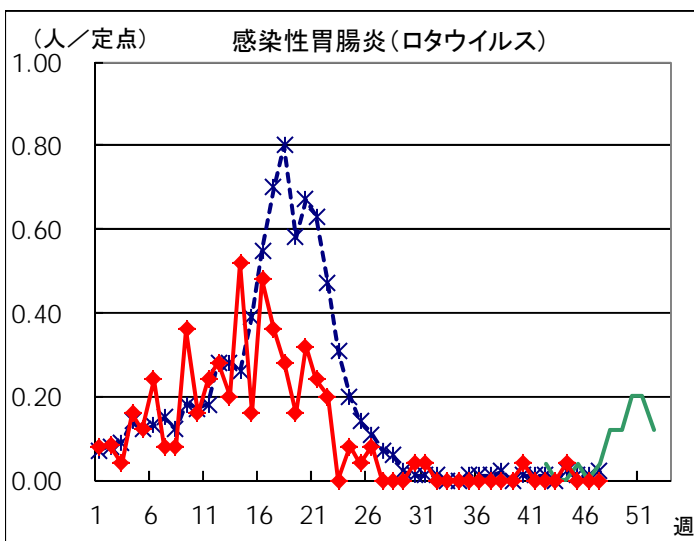
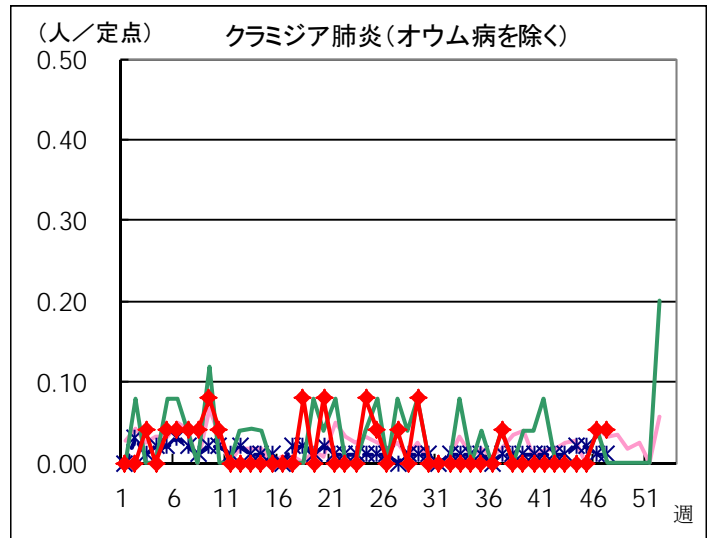
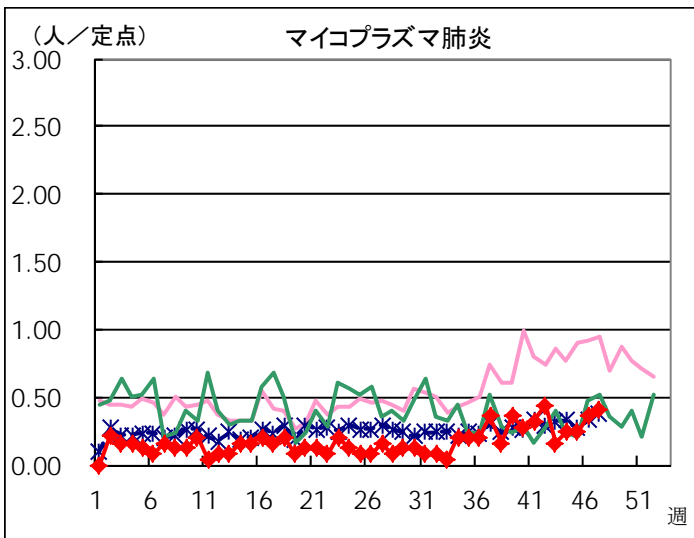
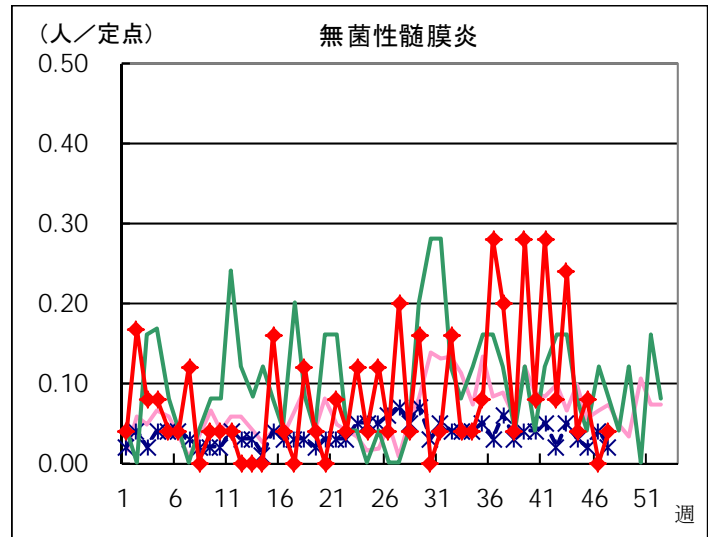
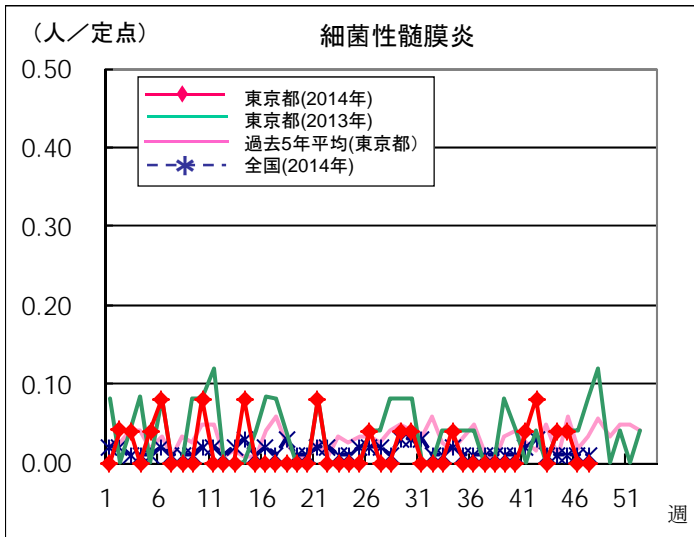
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
11/10	気管支炎	8M	咽頭拭い液	アデノウイルス ライノウイルス
11/10	不明熱	10M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型
11/5	RSウイルス感染症	1	鼻汁	アデノウイルス エコーウイルス 25型 RSウイルス
11/10	肺炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス
11/6	咽頭炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス
11/10	気管支炎	1	咽頭拭い液	ライノウイルス RSウイルス
11/7	髄膜炎	1	咽頭拭い液	ライノウイルス
			髄液	ムンプスウイルス
11/4	不明熱	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルス A群8型
11/10	不明熱	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型
11/10	不明発しん症	1	記載無し	アデノウイルス ライノウイルス
10/31	急性気管支炎	2	咽頭拭い液	アデノウイルス コクサッキーウイルス A群10型
11/10	咽頭結膜熱	3	咽頭拭い液	アデノウイルス
11/10	扁桃炎	5	咽頭拭い液	アデノウイルス EBウイルス
11/10	伝染性紅斑	5	咽頭拭い液	ヒトパルボウイルスB19
11/8	不明発しん症	6	咽頭拭い液	ライノウイルス
10/29	伝染性紅斑	7	咽頭拭い液	ヒトパルボウイルスB19
11/10	伝染性紅斑疑い	8	咽頭拭い液	ヒトパルボウイルスB19
11/10	伝染性紅斑	9	咽頭拭い液	ヒトパルボウイルスB19
11/10	反復性耳下腺炎	11	咽頭拭い液	EBウイルス
11/7	流行性角結膜炎	56	結膜拭い液	ライノウイルス

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09*1	AH1亜型	AH3亜型	B型
46週			5	
2014-2015年 シーズン累計*2			10	

*1 2011年4月1日から新型インフルエンザ(AH1N1pdm)が季節性インフルエンザに移行されたため、表記を AH1pdm09 とする。

*2 2014-2015年シーズンの開始は第36週(2014年9月1日～)

病原体検出情報 【週別】

検出病原体	2014年							
	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週
アデノウイルス	2	11	4	2	4	5	8	7
ライノウイルス	4	4	5	6	2	9	4	6
ポリオウイルス								
コクサッキーウイルスA群	3	3	5	3		1	1	2
コクサッキーウイルスB群			1	1	3			
エコーウイルス	2	4	6	5	4	1		1
エンテロウイルス71			1	1				
その他のエンテロウイルス	3	5			4	1	1	
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹ウイルス						1		
ヒトヘルペスウイルス6型・7型	1	2	2	2	4	7	3	2
EBウイルス	1			1	2	1	1	2
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス	1		2		2			1
麻疹ウイルス								
風疹ウイルス		1						
ヒトパルボウイルスB19		1	2			2	1	4
RSウイルス		3	4	3	2		3	3
ノロウイルス							1	
ロタウイルス								
インフルエンザウイルスAH1亜型								
インフルエンザウイルスAH3亜型				1	1	1		5
インフルエンザウイルスB型								
インフルエンザウイルスAH1pdm09								
デングウイルス(抗体を含む)								
その他のウイルス		1	1	1				
その他の病原体		1						

病原体検出情報 【臨床診断名別】

2014年39週～2014年46週

	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他
搬入検体数	31	28	37	6	55	14	9	4	13	10	34	15				21
アデノウイルス		5	6	1		10	4	2	1		11					3
ライノウイルス	2		13		2	2	1	2	1	2	9	5				1
ポリオウイルス																
コクサッキーウイルスA群	1	3	1		1	1		2	6		2					1
コクサッキーウイルスB群					5											
エコーウイルス		5	1		13						2	1				1
エンテロウイルス71									2							
その他のエンテロウイルス	1	2	3		1	2					4	1				
単純ヘルペスウイルス																
水痘・带状疱疹しんウイルス									1							
ヒトヘルペスウイルス6型・7型		1			1					2	15					4
EBウイルス		2				1					1	3				1
サイトメガロウイルス																
ムンプスウイルス					2							4				
麻疹ウイルス																
風しんウイルス											1					
ヒトパルボウイルスB19										9	1					
RSウイルス	1	3	12						1							1
ノロウイルス				1												
ロタウイルス																
インフルエンザウイルスAH1亜型																
インフルエンザウイルスAH3亜型	8															
インフルエンザウイルスB型																
インフルエンザウイルスAH1pdm09																
デングウイルス(抗体を含む)																
その他のウイルス					2											1
その他の病原体				1												

<感染症豆知識>

A 型肝炎

A型肝炎ウイルス（HAV）の血清型は1種類であるが、遺伝子型はI～VI型に分類され、ヒトからは主にI、III型が検出される。国の感染症発生動向調査では2010年に300例を超えるA型肝炎発生報告があり、従来日本に常在していたIA株に加え、それ以外のIA株とIIIA株が日本に侵淫したと考えられた。2014年2～3月に報告が増加し、広域に同一遺伝子配列のIA株が検出されている。

感染経路として、わが国ではカキ等の生鮮魚介類などHAVに汚染された飲食物の経口感染が主である。上水道が普及していない渡航先では生水にも注意が必要である。欧米では輸入食品（セミドライトマト、冷凍ミックスベリー）による広域事例が報告されている。

HAV感染後平均28日（15～50日）の潜伏期間を経て、発熱、全身倦怠感、頭痛、食欲不振、下痢、嘔吐、上腹部痛があり、その後に黄疸、肝腫脹、黒色尿、白色便などの肝炎症状を呈する。一般に予後良好で慢性化することはないが、回復に1～2か月を要する。5歳以下の小児は約90%が不顕性感染であるが、成人は90%が発症し、うち60%は黄疸を示す。高齢者や基礎疾患を有する場合、劇症肝炎を起こすことがある。現在60歳以下の多くが無免疫の感受性者と考えられ、患者の平均年齢は年々上昇傾向にある。

HAVは感染後約1週間～発症後数カ月まで長期に便中に排出され、患者の発症前や不顕性感染者からも感染伝播する可能性がある。家族内・施設内集団発生もみられ、特にオムツ等の処理に注意が必要である。時に感染に気付かない調理従事者を介する食中毒事例もみられるので、手洗いをはじめとする日頃の衛生管理の徹底が重要である。

流行地への渡航者、A型肝炎患者との接触機会が多い医療従事者や保育施設・障害者施設関係者、食品取り扱い者はワクチン接種による予防が望まれる。

（文責 国立感染症研究所客員研究員 山下和予）